



▶ これまでのあゆみ

- 1999年 ● 世界経済フォーラム(ダボス会議)の席上でコフィー・アナン国連事務総長(当時)がグローバル・コンパクトを提唱
- 2000年 ● ニューヨークの国連本部で正式に「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」発足
- 2003年 ● 日本でのローカルネットワーク(GCNJ)発足
- 2004年 ● GCリーダーズ・サミットにおいて腐敗防止に関する原則が追加される
- 2006年 ● 川崎市、国連グローバル・コンパクトに署名
- 2007年 ● 「かわさきコンパクト準備委員会」設置
- 2008年 ● 「かわさきコンパクト委員会」設置、企業・市民の参加を呼びかけるビジネス・コンパクトの登録制度開始、10企業が参加
- 2009年 ● 市民コンパクトの登録制度開始、12団体が参加
- 2010年 ● 市民コンパクト団体登録制度を変更
かわさきコンパクト参加 30団体に(14企業16団体)
- 2015年 ● 国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」採択される
川崎市、COEをUNGC本部に提出
- 2017年 ● 2回目のCOEをUNGC本部に提出
かわさきコンパクト参加 40団体に(19企業21団体)
- 2019年 ● 「川崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進方針」策定



▶ お問い合わせ

川崎市環境局 地球環境推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-3871

FAX 044-200-3921

未来への 約束

サステナブルなかわさきをめざして

かわさきコンパクト

Kawasaki Compact



▶ かわさきコンパクトからSDGsへ

川崎市は、日本の自治体で唯一「国連グローバル・コンパクト」に参加しています(2006年署名)。
市民・企業・行政等の連携によってその理念を市内に展開していくため、
川崎オリジナルの「かわさきコンパクト」を定め、10年以上にわたり取組を推進してきました。

2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」をきっかけとして、
持続可能な社会の実現に向けた取組が更なる広がりを見せています。

川崎市においても、2019年2月に持続可能な開発目標(SDGs)推進方針を策定し、
全庁をあげてSDGs達成に寄与する取組を推進していくこととしています。

これまでかわさきコンパクトで取り組んできた実績を踏まえ、

今後も多様なステークホルダーやセクターとの連携、協力を行い、

持続可能な地域社会、国際社会づくりの輪の実現を推進してまいります。

ビジネス コンパクト

企業



行政等



市民



市民 コンパクト

ビジネス・コンパクト 9原則

- [人 権] 原則1:一人ひとりの人権を大切にします
- [労 働] 原則2:全ての働く人を大切にする職場をつくります
原則3:環境問題に対する基本的な活動方針を作り公表します
- [環 境] 原則4:環境問題の解決に向けた予防的な活動を展開します
原則5:環境にやさしい技術の開発と普及を促進します
- [取引・商品
サービス] 原則6:公正な経済取引の実現に努めます
原則7:安全かつ安心な商品・サービスを提供していきます
- [地域貢献] 原則8:地域社会の一員として、地域社会に貢献していきます
- [国際貢献] 原則9:自らの特徴を活かし国際社会に貢献していきます

市民コンパクト 3つの宣言

- [宣言1] 川崎の町と人と自然を大切にします
- [宣言2] わたしの地球温暖化対策を進めます
- [宣言3] かわさきコンパクト・パートナー企業と協働します

市長メッセージ

川崎市長 福田 紀彦



川崎市は、多摩川や多摩丘陵などの自然や、地域に根付いた文化やスポーツ、
京浜臨海部の一翼を担ってきた産業の集積、交通・物流の利便性などの特色を持
つ、首都圏の大都市として存在感を増しています。わが国の総人口が減少局面にあ
るなかで、本市では人口150万人を突破した現在においても増加が続いており、
特に若い世代の方々に「選ばれる都市」として進化を続けております。日本の産業
発展をけん引してきた川崎市は、深刻な環境問題など、これまで幾多の困難に直面
し、知恵と工夫をもって、課題解決に向け挑んできました。公害問題への取組の過
程では、優れた人材が培われるとともに産業の集積が進み、現在では、最先端の環
境技術などをもつ世界的な企業や研究機関が数多く立地する国際的な産業・研究環境都市へ変貌を遂げるなど、苦難
を乗り越え、ピンチをチャンスに転換して発展を成し遂げてきました。

日々複雑化する社会状況の中、日本で唯一「国連グローバル・コンパクト」に参加している自治体である川崎市は、多
様な文化や価値観を受け入れながら、経済活動などをグローバルに展開しています。「持続可能な開発目標(SDGs)」の
達成に向け、2019年2月には市のSDGs推進方針を定め、全庁を挙げて取組を推進していくこととしています。今後も国
際社会の一員として、気候変動などの環境問題への対応や社会福祉の向上などグローバルな課題を真正面から捉え、
我が国、アジア、世界の平和と繁栄に貢献し、この活気溢れる「最幸のまち かわさき」を、未来を担う子どもたちに引き
継いでいくため、成長と成熟が調和した持続的な発展に向けて、挑戦し続けてまいります。

委員長メッセージ

かわさきコンパクト委員長 庄司 佳子



提唱されてから3年が経つSDGsへの関心も、国内外、企業や市民を問わず高まり
を見せ、事業・取組内容やセクターに関わらず、多くの方が関心を寄せております。
川崎市のSDGs推進方針も策定され、市内でのSDGsを意識した取組が、今後ますます
活性化することとなります。今後も国連グローバル・コンパクトやSDGsのような
持続可能な社会に寄与する取組を発展させ、多様なセクターの協力や交流を推進
させることにより、「サステナブルなかわさき」の実現を目指したいと思います。

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)

持続可能な開発目標(SDGs)は、2015年の国連サ
ミットで193カ国の全会一致で採択された、17の目標
(ゴール)と169のターゲットに全世界が取り組むことによ
って『誰も取り残されない』世界を実現しようとするため
の計画です。地球温暖化や環境保全への対策だけでなく、
貧困、食、福祉、教育、労働など地球規模のさまざまな
課題の解決に向けて総合的に取り組むための計画とな
っています。2030年にこれらのゴールおよびターゲット
を達成して持続可能な世界を実現すべく、全世界の企
業、行政団体、市民団体が活動をしています。



国連グローバル・コンパクトとは？

国家や国際機関のみでは解決困難な「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野の課題に対して、企業や団体に自発的な参画・取組を促すもので、1999年アナン事務総長(当時)が提唱しました。



国連グローバル・コンパクト10原則

- [人 権] 原則1 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
原則2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
- [労 働] 原則3 組合結成 の自由と 団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
原則4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
原則5 児童労働の実効的な廃止を支持し、
原則6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
- [環 境] 原則7 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
原則8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
原則9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
- [腐敗防止] 原則10 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

かわさきコンパクト参加団体・事業者一覧

(●ビジネス・コンパクトは19事業者、●市民コンパクトは21団体。2019年3月1日現在)

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 01 日本理化学工業株式会社 | 01 LET'S国際ボランティア交流会 |
| 02 モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合 | 02 おと絵がたり |
| 03 株式会社デイ・シイ | 03 川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会 |
| 04 東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社 | 04 環境を考え行動する会 |
| 05 昭和電工株式会社 川崎事業所 | 05 グリーンコンシューマーグループかわさき |
| 06 東京ガス株式会社 川崎支店 | 06 特定非営利活動法人 川崎フューチャー・ネットワーク |
| 07 味の素株式会社 川崎事業所 | 07 認定特定非営利活動法人 アクト川崎 |
| 08 旭化成株式会社 製造統括部 川崎製造所 | 08 認定特定非営利活動法人 かわさき市民アカデミー |
| 09 川崎信用金庫 | 09 特定非営利活動法人 かわさき創造プロジェクト |
| 10 富士通株式会社 川崎工場 | 10 特定非営利活動法人 産業・環境創造イノベーションセンター |
| 11 株式会社ショウエイ | 11 特定非営利活動法人 川崎市民石けんプラント |
| 12 花王株式会社 川崎工場 | 12 省エネグループ |
| 13 株式会社アルファメディア | 13 インターネット川崎ガイド |
| 14 日本電気株式会社 玉川事業場 | 14 特定非営利活動法人 みどりなぐら |
| 15 株式会社イスズ | 15 公益財団法人 かわさき市民しきん |
| 16 JXTGエネルギー株式会社 川崎製造所 | 16 特定非営利活動法人 さえの会 |
| 17 株式会社近藤工芸 | 17 ニヶ領用水ウォッチング・フォーラム |
| 18 株式会社建設技術研究社 | 18 EM普及活動研究会 |
| 19 ダンウェイ株式会社 | 19 特定非営利活動法人 おさかなポストの会 |
| | 20 国際ソロプチミスト川崎 |
| | 21 ガールスカウト神奈川第17団 |

日本理化学工業株式会社

01

チョーク製造で 日本一のシェアを持っている 文具メーカーです。



日本理化学工業の社員は、70%以上が知的障がいのある社員です。障がいを持った社員それぞれの理解力に合わせて製造工程を組むことで社員ひとりひとりが大きく活躍してくれています。

「働く幸せ」は、企業こそ実現可能であるという理念をきっかけ、皆働社会を目指して、取り組みを推進しています。



[活動予定]

今後も、常に「相手の理解力に合わせる」という姿勢を大事にして、障がい者雇用を推進していきます。より多くの障がい者が働くことのできる社会の実現に貢献できるよう努力します。

モトスミ・ブレイメン通り 商店街振興組合

02

1店1エコ運動及びエコ調査隊

商店街組合員各店舗にて1店1エコ運動を実施していただいています。その活動を川崎市の小学生3~4年生を対象に夏休みに入って各店舗を回ってお店のエコ運動を調査していただき積極的に活動しているお店を表彰する活動をしています。



[活動予定]

本年度も同じように実施する予定です。

株式会社デイ・シイ

03

セメント、地盤改良材および 固化材の製造販売を 行っている会社です。



人々の安心・安全な暮らしを支えるセメントなどの社会基盤の整備に不可欠な建設資材を提供しています。

また、川崎で発生する産業廃棄物や副産物を再資源化して、製品を製造する技術を確認し、環境負荷の低減や低炭素社会、循環型社会への形成に取り組んでいます。



[活動予定]

今後も循環型社会を実現するリサイクル技術の向上を図り、お客様のニーズに応える製品をたゆまぬ努力で研究開発していきます。

東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社

04

メガソーラー事業を川崎市と 共同で進めています。



川崎市との共同事業で最大出力20,000kWのメガソーラーを運転。市の臨海部に位置し、風圧荷重の軽減のためパネル設置角度など工夫を凝らしています。また、PR施設「かわさきエコ暮らし未来館」が隣接し太陽光発電やエコについて学べる展示やメガソーラー見学ができる「展望スペース」もあります。本事業は、CO2削減と電力供給力の確保の一翼を担い、次世代への貢献を推進します。

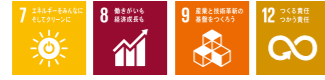


[活動予定]

川崎市との共同事業である浮島太陽光発電所と扇島太陽光発電所の運転・保守を実施します。

昭和電工株式会社 川崎事業所 05

世の中や暮らしを支える
化学製品を製造・
販売しています



様々な化学製品を生産する工場として、保安防災・労働安全衛生・環境負荷低減の取り組みはもちろん、工場見学の実施・出前授業の実施・献血・撮影ロケ地提供を通じた「映像のまち・かわさき」への協力等、地域・社会への貢献も大切にしています。取り組みの成果は、毎年CSRサイトレポートとして、当社ホームページにて公開しています。



【活動予定】

今後も有用かつ安全な製品を開発・製造するとともに、川崎の一企業市民として、社会貢献活動を積極的に推進していきます。

東京ガス株式会社 川崎支店 06

東京ガスグループでは「クリーンなエネルギーを安全に安定的かつ低コストでお届けし、持続可能な暮らし・まちづくりに取り組む」ことでSDGs達成に貢献していきます。



東京ガスは、①災害に強いまちづくりのために、各区が主催している総合防災訓練にブース出展しガスメーター復帰操作体験会、②共生社会実現に向けた取組みとして、障がい者スポーツ体験会(ポッチャ、義足体験等)、③地域環境学習等への協力、④学校教育支援活動を通じた次世代教育の支援として、小・中学校での出張授業や教員研修等を実施しています。



【活動予定】

①ガスメーター復帰操作体験会(14回)、②障がい者スポーツ体験会(13回)、③地球おいしい「エコ・クッキング」講座(3回)・廃ガス管を利用した万華鏡作り(5回)、④小・中学校での出張授業(93クラス)や教員研修(4日) ※④については東京ガス株式会社神奈川学校教育情報センターにて対応しています。

川崎信用金庫 09

預金及び定期積金の受入れ、
資金の貸付及び手形の割引、
為替業務、その他

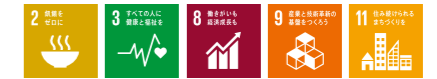


【活動予定】

前年度までと同様、地域金融機関として地元川崎の発展のため更なる地域貢献活動を行なって参ります。

富士通株式会社 川崎工場 10

豊かな自然に囲まれて、今日も最先端の
テクノロジーが川崎工場から生まれています。



川崎工場は富士通の本店であり、開発設計の中核拠点です。また、良き企業市民として地域と密着したコミュニケーションを図りながら、川崎工場ならではの地域・スポーツ・環境のリソースを最大限に活用し、地域との共生をテーマに各活動に取り組んでいます。

- ・地域に根ざした地域貢献活動：富士通フェスティバル春まつり／イルミネイト川崎
- ・スポーツを通じた社会貢献活動：富士通スタジアム川崎スポーツフェスタ、ふれあい教室(女子バスケットボール部・アメリカンフットボール部による市内小学校でのスポーツを通じた交流)
- ・環境社会貢献活動：栗木山王山緑地保全活動、タブレットPCを用いた環境教育

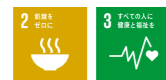


【活動予定】

引き続き、川崎工場のリソースを最大限に生かした、地域貢献活動、スポーツを通じた社会貢献活動、環境社会貢献活動を推進してまいります。

味の素株式会社 川崎事業所 07

味の素グループの一大集積拠点
(生産、R&D、グループ各社集積)です



グループで統一した「味の素グループ環境方針」に従い、法規制の順守とともに、事業活動から発生する各種の環境負荷の低減を図っております。「おいしく食べて健康づくり」を事業の中核として、事業所では地域との共生事業として「味覚教室」・「かわさき緑のカーテン夏休み!親子ゴーヤー料理教室」を継続取組としています。



【活動予定】

地域との共生や社会貢献のためのイベント開催や従業員による環境負荷低減活動を継続します。今年度も引き続き川崎国際環境技術展に出展します。

旭化成株式会社 製造統括部 川崎製造所 08

私たち旭化成グループは、
世界の人びとの“いのち”と“くらし”に
貢献します。



旭化成は、再生エネルギーからの「グリーン水素」を製造するアルカリ水電解システムで「クリーンな環境エネルギー社会」の実現に貢献していくことを目指しています。また、「工場周辺の清掃活動」、災害時に飲料水を提供する「ライフスポット」の設置、津波時の避難施設の提供により地域社会への貢献活動に積極的に取り組んでいます。



【活動予定】

「第4回スマートライフスタイル大賞」を受賞した約1,000人規模の「殿町夜光線公道周辺の清掃活動」を今年も実施します。川崎市や近隣企業と連携し清掃範囲を広げ、参加企業・団体を増加させて持続可能な地域貢献活動へと発展させていきます。

株式会社ショウエイ 11

当社は温泉ろ過装置やプールろ過装置
などの製造・販売を通して、環境問題への
貢献を目指しています。



環境関連製品(プール、温泉施設向けろ過省エネシステム)の販売を水・電力削減量に換算した目標を掲げて取り組むとともに、お客様の施設全体で環境保全に取り組める新たな省エネシステムの開発を進めてまいりました。また環境配慮活動の啓発の一環としてCASBEE川崎取得ビルの使用、地域環境イベントへの参加を行いました。



【活動予定】

従来の製品群、特に省エネに関連した製品の開発・販売促進、更なる安心・安全の提供とともに、子どもたちへの環境教育の場の提供にも取り組んでまいります。

花王株式会社 川崎工場 12

消費者の皆様の豊かな
生活文化を実現する
製品を生産しています。



川崎工場では場内に約7千㎡超の緑地を保全しています。川崎臨海工業地帯における一定規模の緑地は弊社含めて3ヶ所のみであるため多摩川水域環境保全の観点から花王グループ環境方針の一つでもある「地域の生物多様性に配慮した活動推進」として「いきもの共生事業推進協議会ABINC」の認証を2018年1月26日取得しました。



【活動予定】

モニタリングを実施したところ176種の植物、11種の鳥類、56種の昆虫類が確認され、中でも幼虫時にウマノスズクサ類だけを食草する珍しいジャコウアゲハが確認されました。今後も川崎市と相談しながら多摩川水域の環境保全に貢献していきます。

株式会社アルファメディア

13

ハードウェアとソフトウェアの
開発技術を通して、教育分野・
福祉分野に強みを持つ企業です。



当社は「人に優しいマルチメディアをあなたと共に創造する」の経営理念の下、様々なシステム開発で培った技術を「福祉分野」「教育分野」を中心に展開を図っています。また、全従業員の物心両面の幸福追求を掲げ、フィロソフィーの浸透と時間当たり採算性を重視しています。



[活動予定]

今後益々ニーズの高まるIT教育に対し、川崎フロンターレとコラボした子供向けプログラミング講座の開催等、難しい事を楽しく子供達がITに興味を持ってもらえるような取り組みにも注力して行きます。

LET'S国際ボランティア交流会

01

外国人支援、異文化理解で、
多文化共生社会を目指します



LET'S国際ボランティア交流会は、毎週、外国人市民のために日本語サロンを開いています。原則一対一の学習で日々の暮らしに役立つ日本語を身に付けられるようにするほか、時には悩みを聴いたりしながら、異国で暮らすことの不安を解消できるよう支援しています。また、アウトティングやボラックランチなどを通して相互理解を深めています。年に一度は乳幼児を持つお母さん対象のプロによるミニコンサートを開催し、気軽に音楽文化を楽しんでいただく機会を提供しています。



[活動予定]

日本語サロン(毎週月曜日・溝の口カトリック教会)、浴衣体験会(6月下旬～7月初旬・宮前市民館・高津市民館)、ミニコンサート(10月～11月・宮崎こども文化センター)、また各種相談にも対応しています。

環境を考え行動する会

04

よりよい未来のために
生ごみを堆肥にする
ダンボールコンポスト普及活動



生ごみの栄養を土に還して、美しい花壇や安全でおいしい野菜作りを提案しています。自治会町内会をはじめ花壇グループや市民団体などで講座を行っています。高津区下作延小と高津小で、ダンボールコンポストの取り組みをサポートしました。中原区役所5階「なかはらっば」で第3月曜生ごみリサイクル相談窓口を開設中です。



[活動予定]

・自治会はじめ様々な事業者・団体・行政からの依頼による講座開催や展覧
・小学校でのダンボールコンポストの取り組みサポートや夏休み親子講座開催
・生ごみ堆肥を使った菜園講座やごみゼロイベント実施サポートなど

グリーンコンシューマーグループ
かわさき

05

グリーンコンシューマー
10原則を基本に身近でできる
エコライフを多くの人にすすめます。



日常生活の中で身近に出来るエコライフの啓発活動をしています。川崎市内の小学校約10校や神奈川大学附属高校で環境出前授業をしたり、区役所の各イベントに参画しマイバッグづくり、エコショッピング・クッキング等を行いました。プレーメン通り商店街と協働で子どもたちによる各商店取組のエコ調査等も行いました。



[活動予定]

講演会「防災はローリングストックで食品ロスゼロへ」で食品ロスの啓発を行いました。2012年に発行した「エコちゃんずのエコショッピング・クッキングBOOK」の改訂も行い、新たに「食品ロス」に関するページを追加する予定です。

おと絵がたり

02

地域や日本の物語を
音楽と絵巻と語りで伝え、
多くの人と共有します。



地域の小学校の読書活動から生まれた「おと絵がたり」は2003年より、川崎市内外の公共施設や小学校、高齢の方の施設等で、上演やワークショップを行ってきました。(年間約20回)地域や日本に伝わるお話を、オリジナルの絵や絵巻と音楽と語りで、多くの人に伝え、お話の「心のごちそう」を多くの人と共有し、人が繋がる、まちづくりに貢献します。



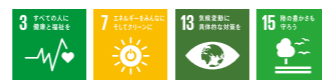
[活動予定]

毎年の会主催の本公演(2019年は8月に中原市民館ホールで開催予定)出張公演多数(地域内外の公共施設、小学校他)

川崎区市民健康の森
海風の森をMAZUつくる会

03

川崎市の臨海部に位置する浮島町公園を川崎区市民健康の森(愛称「海風の森」)と定め、緑の回復と保全、創出により市民の憩いの場として、環境学習や地域コミュニティの場所として、人と自然との共生を図りながら管理・運営を行う事を目的とします。



毎月第二、第四日曜日、第一水曜日を定例活動日として、下草刈りや樹木の枝払い、花壇の整備、公園整備を中心として活動を行っています。また、森を使ってソーラークッカーづくりやドングリ調べなど、近隣の子供たちを中心とした活動、大師サマーフェスタ他のイベント参加、川崎区のエコプロダクト活動で保育園や施設向けのみどりのカーテンづくりの指導、区内の保育園、小学校寺子屋への森の資料を使った出前講座も行っています。



[活動予定]

花とみどりの交流会参加、浮島町公園のシンボルでもある3本の風車のある広場や松林を中心として、近くにあるエコ暮らし未来館とセットにして自然エネルギーや環境を考えるきっかけ作りとしての観察会やクラフトなどのイベントを計画しています。

特定非営利活動法人
川崎フューチャー・ネットワーク

06

環境を意識して行動する
市民を増やすための
「学びの場づくり」



『川崎市を「環境都市」として市民が誇れるまちにするために』をスローガンに、環境学習、ネットワーク形成、情報発信の3つを柱として活動を行っています。市内や全国の環境団体とも連携しながら、「エコツアー」、「学びあいエコサロン」、「公害映画上映会」などを開催するほか、環境とまちづくり情報をSNSなどで発信し、無料メールニュースを発行しています。



[活動予定]

毎月1回(原則第3火曜日夜)学びあいエコサロンの開催。大テーマとして、SDGs、マイクロプラスチックを取りあげています。他に「公害映画上映会」、川崎・多摩を知る「川崎再発見」連続講座の企画・開催。

認定特定非営利活動法人
アクト川崎

07

企業・学校・行政・市民とともに、
地球温暖化防止・SDGsの推進、
実践を行います。



・川崎市地球温暖化防止活動推進センターの企画運営を通じて、市民活動の支援・実践推進、事業者との連携を進めています。
・事業者の施設見学、市民と事業者の情報交換・意見交換会開催、小学校向け環境出前授業の推進、子ども向け夏休みの体験実践教室、町内会・自治会・マンション・市民団体等への環境学習開催、環境分野の人材育成などを推進しています。
・「Art & Ecology」として小黒恵子童謡記念館の企画運営も行っています。



[活動予定]

・毎月のテーマごとに、CCかわさき交流コーナーにて企画展示、講座を開催。
・子ども向け夏休み、春休みの環境体験・工作講座の開催。
・かわさき環境フォーラムの開催(12月)

認定特定非営利活動法人
かわさき市民アカデミー

08

市民向けの生涯学習講座・
ワークショップの運営を
行っています。



市民向けの生涯学習の場を提供しています。人文・社会・自然諸科学など多分野にわたる講座、ワークショップを年間100講座以上開講し、現在年間延べ7000名の受講生が学んでいます。なかでも川崎市生涯学習財団と協働運営している「地域協働講座」や川崎について学ぶ「川崎学」は市民の社会参加と学習成果の地域還元を支援するユニークな講座です。



[活動予定]
今後もアカデミーでは受講生がお互いに学びあい、高めあうことを大切に、講座の一層の充実を図ります。また学習の成果を生かしたボランティア活動による社会貢献を推進します。さらに出版活動を通して社会へ発信をいたします。

特定非営利活動法人
かわさき創造プロジェクト

09

シニアの社会参加支援事業、地域情報発信事業、
教育支援活動事業これらの3事業を柱にシニアの
持つ知識や経験を地域に生かしていく活動をしています。



- ・シニア向けパソコン教室事業：参加者のレベルに沿ってシニアの講師・アシスタントが親切丁寧に指導しています。
- ・シニアパワーアップ事業：著名な講師を招いてシニア向けの講演会、シニアのパソコン教室、シニア傾聴講座これらの3事業を川崎市と協働で開催しています。
- ・シニアポータル「かわぼ」事業：市内を中心に開催されるイベント等取材し、その記事をポータルサイト「かわぼ」に掲載しています。
- ・小学校でのパソコン授業の支援活動：小学生低学年生向けのパソコン授業支援、プログラミング学習の支援を行っています。
- ・遊びと学びの寺子屋事業：子供たちが学習意欲向上するための支援と科学実験・料理・昔遊びなどを体験してもらう支援をしています。



[活動予定]
現在の事業のさらなる向上・推進を図っていきます。パソコンの技術進化に対応できる体制作りを強化し、スマートフォンの授業を開始します。また、2020年より実施される小学校でのプログラミング学習を支援する要員のさらなる増員をおこなっていきます。

省エネグループ

12

省エネグループは、市民が
地球温暖化防止の活動をするための
普及啓発活動を行っています。



CO2排出抑制などに積極的に取り組むため、小学生を対象としたエコライフチャレンジや出前授業を通じ、省エネ意識・活動を普及啓発しています。エコライフチャレンジは、夏・冬休みに家庭で出来る省エネ活動に取り組んで、その成果を報告します。出前授業は、温暖化、節電、エネルギー、植物のCO2吸収 などについて実験・体験を取り入れた講義を行います。環境イベントや町内会の勉強会にも向かっています。



[活動予定]
活動を継続することが大事なので、今後も範囲を広げて積極的に取り組んでいきます。エコライフチャレンジや出前授業の生徒からの結果や質問は、学校を通じて報告・回答してゆきます。また、大学教授などをお願いして講演会も行います。

インターネット川崎ガイド

13

川崎市全域のホームページを、写真・
地図と結びつけ、さまざまな形で分類・整理、
見やすく判りやすいインターネット
鳥瞰図としてご紹介しています。



熟年・高齢者、転入・来訪者、IT初心者に日常生活、市民活動、地域活動、広報活動、IT教育、などの資料として活用され、地域の活性化に貢献しています。特に、自然・環境・健康の分野に留意し、各区百景・その他多種のサイトを通じて、四季にわたり散策・散歩ルート地図、写真、関連ホームページを提供するなど、単なる情報提供だけでなく、「やさしく外出」の機会につながるよう、支援を行っています。



[活動予定]
絶えざる変化に即応、常に内容の充実・更新を行い、川崎市内で発信されるインターネット情報・写真・地図情報の確実で早い無償提供を、PC版・スマホ版双方で、心がけています。ほかに、GoogleMapsへの写真登録、川崎市内 1,000 地点以上。

特定非営利活動法人
産業・環境創造リエゾンセンター

10

最古参の工業都市川崎で、
足元から世界まで先進的に
環境改善を目指します



川崎臨海部の製造業を中心とする企業が会員で、「経済と環境の好循環」を目標に、企業と行政、市民等の連携を進め「地球温暖化対策」、「地域環境改善」、「市民活動との交流」を中心に活動しています。また、「臨海コンビナート都市連携シンポジウム」(2018年10月30日)を開催し、こうした取組みは国内外からも注目されています。



[活動予定]
市民NPOとの協働を視野に企業と市民双方のニーズの把握と一層の交流を通して、より市民に身近なコンビナートとして理解されるよう努めていきます。また、シンポジウムを2019年11月に開催予定です。

特定非営利活動法人
川崎市民石けんプラント

11

市民や小学校からの廃食油による
資源循環型のリサイクル事業を行い、
環境保全、低炭素社会づくりに貢献します。



小学校からの廃食油100%のリサイクル石けん「きなりっこ」に加え、賞味期限切れの油による液体せっけん「きなり姫」を使い、イベントなどで資源循環や石けんのアピールしています。工場見学や出前講座などにも対応し、独自の環境学習会も取り組んでいます。また、市民からの天ぷら油によるバイオディーゼル燃料(BDF)についてクリーンエネルギーとしての取り組みを調査検討しています。



[活動予定]
石けんの販路拡大に向け広報戦略を立て、会員向け機関紙を見直し、新たな紙面づくりをおこない、配布先を拡大させます。BDFについては、熊本県の取り組みを調査、視察します。

特定非営利活動法人
みどりなぐらし

14

～身の丈で、半歩先へ～
子育て世代の方へ
心豊かなぐらしの提案



親子ひろばや親子向け企画を開催し、食とエコなぐらしの情報発信を行いました。地域のマルシェ出店では、木工ワークショップを開催し、自然に親しみながら、楽しく工作を行いました。川崎野菜の利用普及をひろめる取組みでは、「枝豆」や「大根」を種から育てて収穫する農作業体験を行い、多くの親子が参加しました。



[活動予定]
武蔵新城駅近くでの親子ひろばの定期開催、親子向けの食と農、エコなぐらしの情報発信を適宜行います。地域で開催のマルシェへの出店や、農作業体験を春と秋に開催します。

公益財団法人
かわさき市民きん

15

志のある寄付を募り、
川崎を誰もが暮らしやすく、
人や命にやさしい地域にします。



市民、企業からの志ある寄付を原資として、地域の社会公益活動に助成します。寄付募集、地域課題可視化のための調査、相談支援などの中間支援の3つのプログラムを主な事業の柱としています。暮らしやすい地域づくりに、市民が寄付をすることで参加する、という文化を創っていきます。



[活動予定]
地域で必要とされている事業に寄付することが当たり前で、かっこいい。寄付はその活動に参加すること。自分の地域を自分たちの手でより豊かにしていく活動を行います。新しいお金の流れをつくります。

かわさきコンパクトの取組

1 「かわさきコンパクト交流会」による 参加企業・団体間の交流促進

平成30年8月30日(木) 株式会社アルフォ 城南島第2飼料化センター

- 参加団体間の交流の促進、参加団体各々の活動の活性化を目的として開催しました。
- 今年度は東京都大田区にある株式会社アルフォ 城南島第2飼料化センターを見学し、食品廃棄物の飼料化の過程を見学しました。
- 行政における食品ロス削減の取組や、「NPO法人ぐらす・かわさき」様より市内で開催されている食品ロス削減に関する活動について発表していただきました。
- その後食品ロスおよびSDGsをテーマに参加者による意見交換を行い、市内の食品ロス削減に向けた自由な話し合いを行いました。



2 エコ・クロスマッチングの共催

平成30年6月29日(川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催)

- 市民団体による啓発や、川崎市で表彰や認定を受けた事業者の先進事例紹介などの場で情報発信を行いました。
- 環境に関連した市民団体が出展したパネル展示において、SDGsをテーマとした活動紹介が行われました。



3 「かわさきコンパクト」フォーラムの開催

平成30年2月1日(木) 川崎国際環境技術展 センターステージ(とどろきアリーナ)
親子トークセッション ～川崎が変わる、川崎が変える地球の未来～

- 講演者
末吉 竹二郎 氏 川崎市国際環境施策参与/国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問
末吉 里花 氏 一般社団法人エシカル協会 代表理事
- 環境問題をはじめとする諸課題に携わることとなったターニングポイントや国際的な金融とESGの関係性、エシカルの考え方の解説などについて、両氏の意見交換を交えた親子トークセッションを行いました。



平成31年2月8日(金) 川崎国際環境技術展 セミナー会場(カルッツかわさき)
カーボン・ディスラプション(創造的破壊)に備えよ!
～再生可能エネルギーが企業の競争力を高める～

- 講演者
末吉 竹二郎 氏 川崎市国際環境施策参与/国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問
- 国際的な環境、再生可能エネルギーの実状に関することについて、環境と金融という観点から解説いただくシンポジウムを行いました。



4 「かわさきコンパクトセミナー/交流会」の開催

平成31年3月11日(月)

- SDGsに関する講演を実施後、参加者間でSDGsに関する意見交換を実施します。